

令和6年度 東京都立足立特別支援学校 学校経営報告

校長 鈴木 常 義

1 今年度の取組と自己評価

【A 学ぶ】

(1) 人権を尊重した教育の充実

中期目標と方策	教育活動の目標と方策	今年度 数値目標	達成数値	達成度
①生徒の人権に配慮した指導の徹底	ア 適切な援助希求行動の育成（SOSの発信）	随時（全教育活動）	適宜実施	◎
	イ 人格を尊重した「さん」呼びの推奨	随時（全教育活動）	適宜実施	◎
	ウ 自己肯定感、自尊感情や互いを思いやる気持ちの育成	随時（全教育活動）	適宜実施	◎
	エ 乱暴な態度や言葉、追い込む指導等の禁止	不適切な指導ゼロ	不適切指導ゼロ	◎
②体罰・いじめの早期発見の推進と防止の徹底	ア 体罰を生まない職場風土醸成のための研修の実施	年間3回以上	3回実施	◎
	イ いじめ早期発見の徹底（チェックリストの実施）	各学期1回	学期1回実施	◎

(2) 根拠に基づく授業改善と教員の専門性向上

中期目標と方策	教育活動の目標と方策	今年度 数値目標	達成数値	達成度
①アセスメント、外部専門家の活用による授業改善	ア 専門家（障害当事者・OT・PT等）による授業観察及び評価	年間15回以上	65回実施	◎
	イ 外部専門家を積極的に活用した授業改善の推進	各科・教科1回以上	11教科全て提出済	◎
②主体的、対話的で深い学びを実現するための授業改善の推進	ア 授業者支援会議方式による研究授業の実施	年間15回以上	20回実施	◎
	イ 授業に関する生徒評価の満足度の向上	肯定的評価90%以上	90%	◎

(3) 自立の礎となる生活指導の充実

中期目標と方策	教育活動の目標と方策	今年度 数値目標	達成数値	達成度
①ルールを守る安全・安心な学校生活の実現	ア 校訓（誠心誠意）と「あ（挨拶）・じ（時間）・み（身だしなみ）」の指導	毎月1回以上	毎月実施	◎
	イ 生徒ハンドブックを活用した指導（生活のきまり）	毎月1回以上	毎月実施	◎
	ウ 生活指導だよりの発行	年間3回以上	3回	◎

②安全・安心な通学環境の整備	ア スクールバスの安全な運行と車内事故の防止	年間車内事故ゼロ	事故ゼロ	◎
	イ スクールバス連絡会、乗務員研修会の実施	年間3回以上	4回	◎

(4) オリンピック・パラリンピック教育の推進

中期目標と方策	教育活動の目標と方策	今年度数値目標	達成数値	達成度
①学校2020レガシーの構築に向けた取組の推進	ア 「4×4の取組」を明確にしたオリンピック・パラリンピック教育の実施	全教科で実施	全教科で実施	◎
	イ アダプテッド・スポーツを取り入れた体育活動の充実	体験3種目以上	3種目実施	◎
	ウ 芸術・文化活動の推進	3展覧会以上出展	8展覧会出展	◎
	エ 国際交流の実施	各科隔年で1回以上	普通科2年で実施	◎

(5) 読書活動の充実

中期目標と方策	教育活動の目標と方策	今年度数値目標	達成数値	達成度
①生徒が図書に親しむ環境づくりと学校図書活用の推進	ア 読書活動の推進	校内POPコンテスト	実施	◎

(6) 主体性を育む防災教育の推進

中期目標と方策	教育活動の目標と方策	今年度数値目標	達成数値	達成度
①現実的な防災・避難訓練の実施と体制整備	ア 現実度の高い避難訓練の実施	年間3回以上	11回	◎
	イ 宿泊防災訓練における総合的な防災学習の実施	年間1回	1学年実施	◎
	ウ 伝言ダイヤルを活用した緊急時連絡訓練の実施	年間2回	2回実施	◎
	エ 教員の救命技能認定証取得奨励	取得率100%	取得98%	○
②地域と連携した大規模災害対策の検討	ア 地域と連携した総合防災訓練の実施	年間1回	2回	◎

(7) 安心・安全な環境整備

中期目標と方策	教育活動の目標と方策	今年度数値目標	達成数値	達成度
①未然の事故防止意識の高揚	ア 学習環境の安全点検の実施	年間2回	2回	◎
	イ 学習指導案に事故防止策の記載	研究授業時に必須	達成	◎

(8) 体育健康教育の推進

中期目標と方策	教育活動の目標と方策	今年度 数値目標	達成数値	達成度
① 多様な運動機会の創出	ア 公開による研究授業 (体育健康教育推進校としての発表)	年1回以上	2月実施	◎

(9) ICT教育の推進

中期目標と方策	教育活動の目標と方策	今年度 数値目標	達成数値	達成度
① オンライン学習のための環境整備	ア デジタル教材の開発	各教科1点以上	全教科達成	◎

【B つながる】

(1) 自立と社会参加を目指す進路指導・職業教育の充実

中期目標と方策	教育活動の目標と方策	今年度 数値目標	達成数値	達成度
① 各種検定を活用した学習意欲の向上	ア 漢字能力検定、日本語ワープロ検定等の受検推進【普・職】	検定参加者延80名以上	70名(漢52 P18名)	×
	イ 各種技能検定(清掃、喫茶接遇、流通等)を活用した意欲向上【普・職】	検定参加者20名以上	職17名 家政・フォークリフト 普17名	◎
② 作業学習・職業に関する専門教科の指導の充実	ア 普通科各作業班の作業内容の充実【普】	作業学習生徒満足度90%以上	90%	◎
	イ 作業製品販路の充実【普】	年間売上20万円以上	137.100円	×
	ウ 家政・流通の活動内容の充実【職】	専門教科生徒満足度90%以上	90%	◎
	エ 商品の開発・研究と外部販売の充実【職】	年間売上100万円以上	1.117.100円	◎
③ 実業意欲向上プログラムを活用した作業学習の充実	ア 葛飾商業高校との連携による販売と作業製品改善【普】	年間5回以上、モニター1回以上	7回実施 モニター1回	◎
④ 外部専門家を活用した指導の充実	ア 外部専門家による作業内容、方法の指導・助言	年間延100時間以上	100時間	◎
⑤ 個々の実態に応じた進路指導の充実	ア 適性に応じた適切な進路指導の実施	企業就労希望者就労率【職】100% 【普】100%	企業就労希望者就労率【職】100% 【普】100%	◎
	イ 個別移行支援計画を活用した就労支援機関等との引継ぎ	100%	100%	◎

(2) 地域と連携した教育活動の充実

中期目標と方策	教育活動の目標と方策	今年度 数値目標	達成数値	達成度
① 主権者教育の充実	ア 足立区選挙管理委員会と連携した生徒会選挙の実施	各科年1回	実施	◎

	イ 関係機関との連携した消費者教育の実施	年間計画への位置づけ	4回実施	◎
② 関係機関と連携した支援会議の充実	ア ニーズに応じた適時迅速な支援会議の実施	年間随時	40回実施	◎
	イ 外部専門家（SSW）を活用した支援策の検討	年間10回以上	14回実施	◎
③ 地域における社会貢献活動・交流活動の推進	ア 地域関係機関等における環境整備活動（清掃等）の実施	年間10回以上	15回	◎
	イ 地域自治会を招いての交流活動の実施	年間1回以上	実施	◎
④ 共生社会の実現に向けた理解啓発活動の推進	ウ 文教大学等でのパン販売実施	学期1回以上	14回実施	◎
	エ 都立版エリアネットワークの充実	年間20回以上	36回実施	◎

（3）積極的な発信・広報

中期目標と方策	教育活動の目標と方策	今年度 数値目標	達成数値	達成度
① インターネットを活用した積極的な情報発信	ア ホームページの積極的活用	更新年間120回以上	205回更新	◎
	イ X（旧 Twitter）を活用した迅速な情報提供	発信年間300回以上	226回発信	×
	ウ Teams を活用できる環境整備推進	利用できる保護者65%以上	100% アカウント発行	◎
② 職能開発科理解推進の充実	ア 足立区及び近隣区への理解推進の徹底	全中学校訪問	62校	◎
	イ 職能開発科学科説明会の充実	参加者300名以上	357名	◎
	ウ 出前授業・体験授業の実施	年間3回以上	8回	◎

（4）経営企画室の経営参画

中期目標と方策	教育活動の目標と方策	今年度 数値目標	達成数値	達成度
① 経営企画室職員の生徒・指導方法理解の推進	ア 授業参観・研修会への参加	各1回以上	各1回実施	◎

【C 語り合う】

（1）部活動の充実

中期目標と方策	教育活動の目標と方策	今年度 数値目標	達成数値	達成度
① 部活動・特別活動の充実	ア 運動系、文化系部活動の活動促進	加入率40%以上	44%	◎
	イ 近隣特別支援学校等との交流、合同練習等の実施	年間3回以上	9回	◎

②生徒会交流活動の充実	ア 近隣交流校（淵江高校）との交流活動の実施	年間2回以上	2回	◎
-------------	------------------------	--------	----	---

（２）健康づくりと体力の向上

中期目標と方策	教育活動の目標と方策	今年度 数値目標	達成数値	達成度
①健康の基盤となる食育の推進	ア 食育だよりの発行	年間4回以上	年4回発行	◎
	イ 食物アレルギーとエピペンの使用に関する研修の実施	年間1回以上	2回実施	◎
	ウ 緊急時対応訓練の実施	年間1回以上	1回実施	◎
	エ 食育相談の実施	年間10回以上	15回実施	◎
	オ 食育講話の実施	年間1回、参加15名以上	1回7名	×
	カ 適正なBMI（ボディ・マス指数）の推進	通信3回以上	3回発行	◎
②専門家と連携した指導・相談の充実	ア 歯科衛生士と連携した歯科保健指導の実施	年間3回以上	4回実施	◎
	イ 臨床心理士と連携した生徒相談の実施	年間150回以上	328回実施	◎
③医療的ケアに関する理解の推進	ア 医療的ケアに関する理解啓発研修の実施	年間1回	2回実施	◎

（３）保護者・地域とともに進める開かれた学校づくり

中期目標と方策	教育活動の目標と方策	今年度 数値目標	達成数値	達成度
①保護者との連携の工夫・充実	ア オンラインでの研修会・保護者会実施体制の確立	年間1回以上	保護者会での機会がない	×
	イ 学校評価アンケート（保護者）の回収率の向上	回収率80%以上	97%	○
②保護者、地域との積極的な情報共有の推進	ア 授業参観週間の実施	50名以上参加	183名	◎
	イ 保護者向け進路説明会の充実	年4回、満足度80%以上	3回実施 満足度90%以上	◎
	ウ 保護者、地域向け防災講演会実施	年1回	宿泊防災訓練で実施	◎

（４）ライフ・ワーク・バランスの実現に向けた職場環境の整備

中期目標と方策	教育活動の目標と方策	今年度 数値目標	達成数値	達成度
①教職員各自の「働き方改革」の推進	ア 教職員の在校時間の適切な把握による自己管理意識の醸成	◎平均超過時間45時間以内90%	超過勤務時間45時間未満83.5%	×
②積極的な業務改善と働きやすい	ア 「マイプラスワン行動」の推進	全教職員	実施	◎

職場風土づくり	イ ハラスメントやサービス事故ゼロ、明るく働きやすい職場環境づくり	服務研修 年間3回	3回実施	◎
---------	-----------------------------------	--------------	------	---

2 次年度以降の課題と対応策

今年度の学校評価を受け、学校運営連絡協議会より提言された次年度の重点課題を踏まえ、以下の4点を柱として教育活動を進めるとともに、他の課題についてもその具体的方策を次年度学校経営計画に示し、着実に対応を進めていく。

(1) 保護者アンケートの回答率について

昨年度、今後の課題として挙げられていた保護者のアンケートの回答率の低さ（70.6%）は、本年度には大きく改善しており（97%）、オンラインでの回答や紙媒体の配布、定期的な回答要請などの施策が功を奏していると言える。学校経営に、保護者からのニーズを適切に反映させるために、今後もアンケートの回収率を高く保つ取り組みを継続していく。

(2) 学校 SNS での個人情報の保護について

学校経営取組目標でも挙げられているように、インターネットを活用した積極的な情報発信は、重要な取り組みである。保護者アンケートでも、学校での活動の様子を知ることができるなど高評価を得ている。しかし、その一方で生徒の相貌がはっきりと分かる写真が、学校の SNS に掲載されていることを危惧する声も挙がっている。入学時に、写真の掲載については同意を得ているが、SNS に掲載する写真については顔にぼかしを入れるなどの匿名化処理を施す一方で、保護者専用のページを学校ホームページ上に作成し、そこに匿名化処理を施していない写真を掲載するといった対策などの実施について検討する。

(3) 生徒指導について

生徒アンケートや学校生活に関する面談でも、生徒からは学校生活や指導に対する肯定的な回答が得られており、充実した学校生活を送っていることが伺える。その一方で、「先生が学校生活や進路のことで悩んでいる際に、相談に乗ってくれるか」という質問に対して、わからないと答える者が少なからず認められることや、授業の進度が早くて分からない時に先生に言いにくいなどの意見も挙がっていた。生徒が発するサインを見逃さないための、より細やかな心構えを教員に求めていく。なお生徒アンケートについては、教員がいる場で記入するため、本音を記しづらい時もあるように思われる。例えば、生徒からの匿名の意見を受けつけるご意見箱を設置し、生徒会活動で取り上げるなど、生徒の本音により丁寧に向き合うための取り組みを進めていく。

(4) 教員アンケートの結果について

いじめを許さない対応や肉体的苦痛・負担を与えないなど、生徒の権利を尊重した教育・指導を行うことへの意識の高さが伺える。その一方で、計画的な業務進行と効率化や、ライフ・ワーク・バランスの実現に関しては、昨年度よりも改善傾向にはあるが、依然として課題を感じている教員が多い。次年度に向けた業務整理に関して、分掌ごとの検討を進め、速やかな改善を目指す。